

ちょっと気になるデータ

# 正規の職員・従業員数、非正規の職員・従業員数 —労働力調査(基本集計)2019年(令和元年)10月分結果から—

2019年11月に、総務省から「労働力調査(基本集計)」の2019年10月分結果が公表された。その中の正規の職員・従業員と非正規の職員・従業員の統計についてみる。

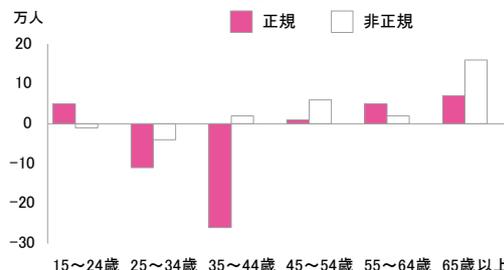
就業者数は6787万人で、前年同月に比べて62万人の増加、就業者数のうち雇用者数は6046万人で、50万人の増加となり、雇用者数の増加が続いている(82か月連続の増加)。

次に、雇用者についてもう少し詳しくみる。雇用者数のうち、正規の職員・従業員数は3526万人で、前年同月に比べて4万人の増加となり、3か月ぶりの増加、非正規の職員・従業員数は2196万人で、40万人の増加となり、25か月連続の増加となっている。

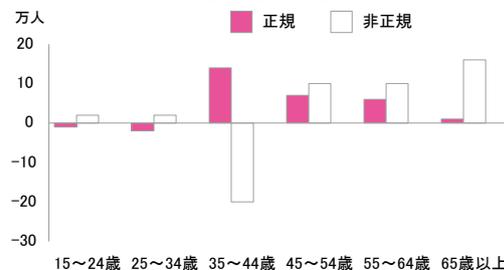
性別にみると、男性では正規の職員・従業員数は2337万人(前年同月に比べ20万人減少)、非正規の職員・従業員数は705万人(同19万人増加)、女性では正規は1188万人(同23万人増加)、非正規は1491万人(同20万人増加)となっている。さらに年齢階級別にみると、男性、女性ともに「65歳以上」で非正規の増加幅が最も大きい。また、男性では「25～34歳」と「35～44歳」で正規が減少しており、とくに「35～44歳」では26万人減少となっている。女性では「35～44歳」で正規が14万人増加、非正規が20万人減少となっている。

最後に、直近1年の正規、非正規それぞれの職員・従業員数の前年同月と比べた増減の推移をみると、男性では正規は7月以降4か月連続で減少してお

正規、非正規の対前年同月増減 男性  
2019年10月



正規、非正規の対前年同月増減 女性  
2019年10月

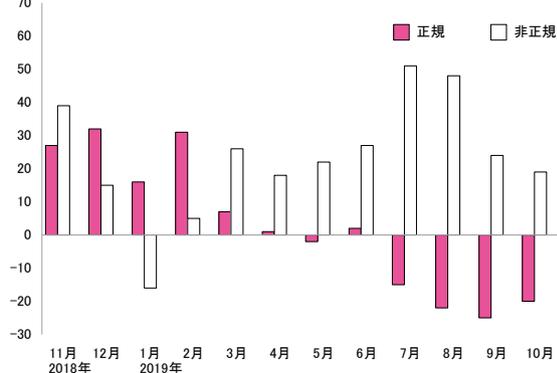


り、女性では正規、非正規ともにおおむね増加している。

2019年9月は、有効求人倍率(季節調整値)は前月比低下、完全失業率(同)は上昇、10月はそれぞれ前月と比べて横ばいとなっている中で、正規の職員・従業員、非正規の職員・従業員の今後の動きについて引き続き注目していきたい。

(調査部 統計解析担当)

正規、非正規の対前年同月増減の推移  
男性



正規、非正規の対前年同月増減の推移  
女性

